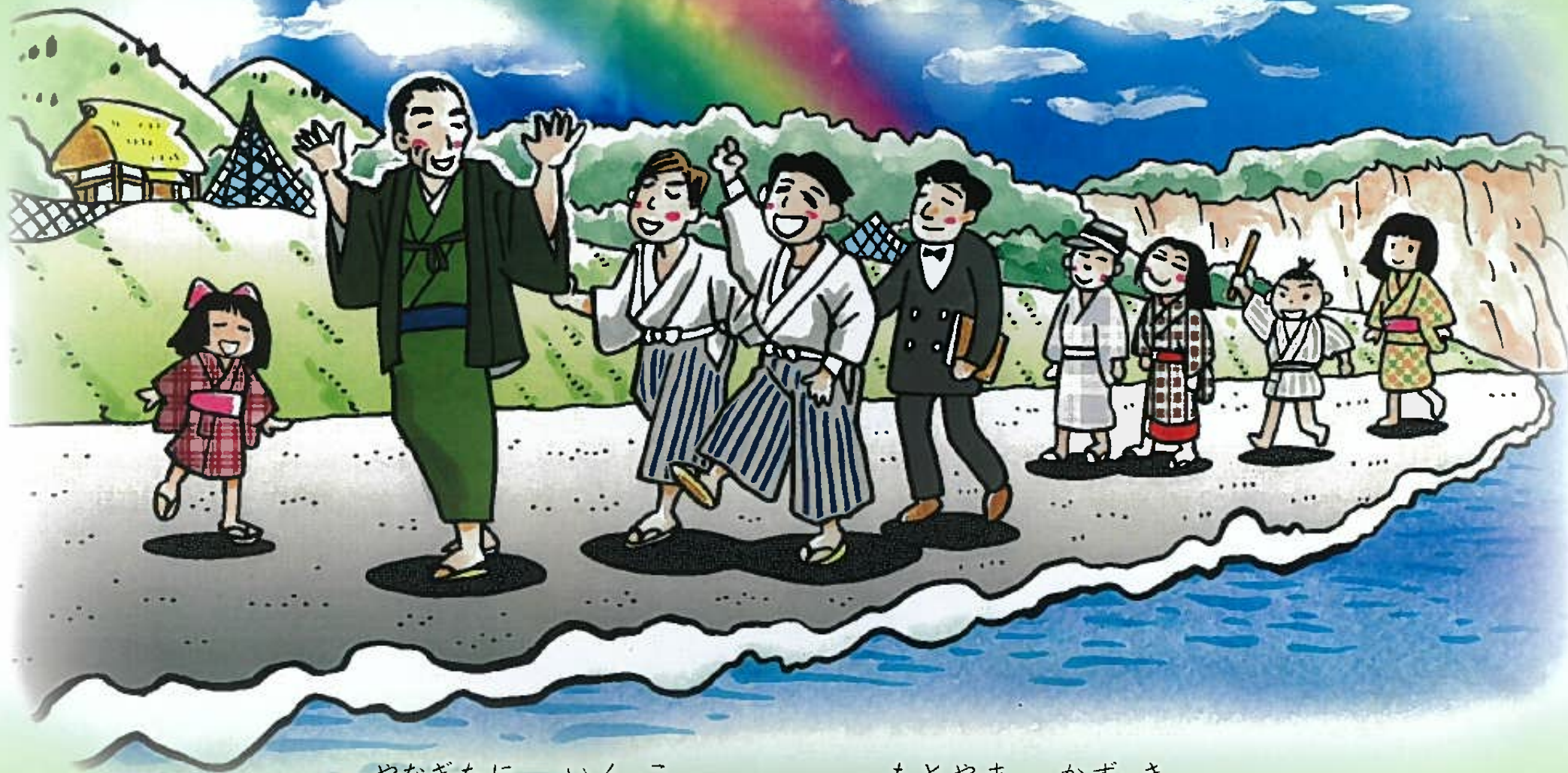


うんぺいせんせい

雲平先生はいつも



やなぎたに いく こ
文 柳谷 郁子

もとやま かず き
絵 本山 一城

うんぺいせんせい
雲平先生はいつも



文 ^{やなぎたに}柳谷 ^{いくこ}郁子 ^{もとやま}絵 本山 ^{かずき}一城

朝です。

「おはよう」

庭の雀に、雲平先生はあいさつをします。

両手を広げて胸いっぱいむねに天をあおぎます。

手を合わせます。

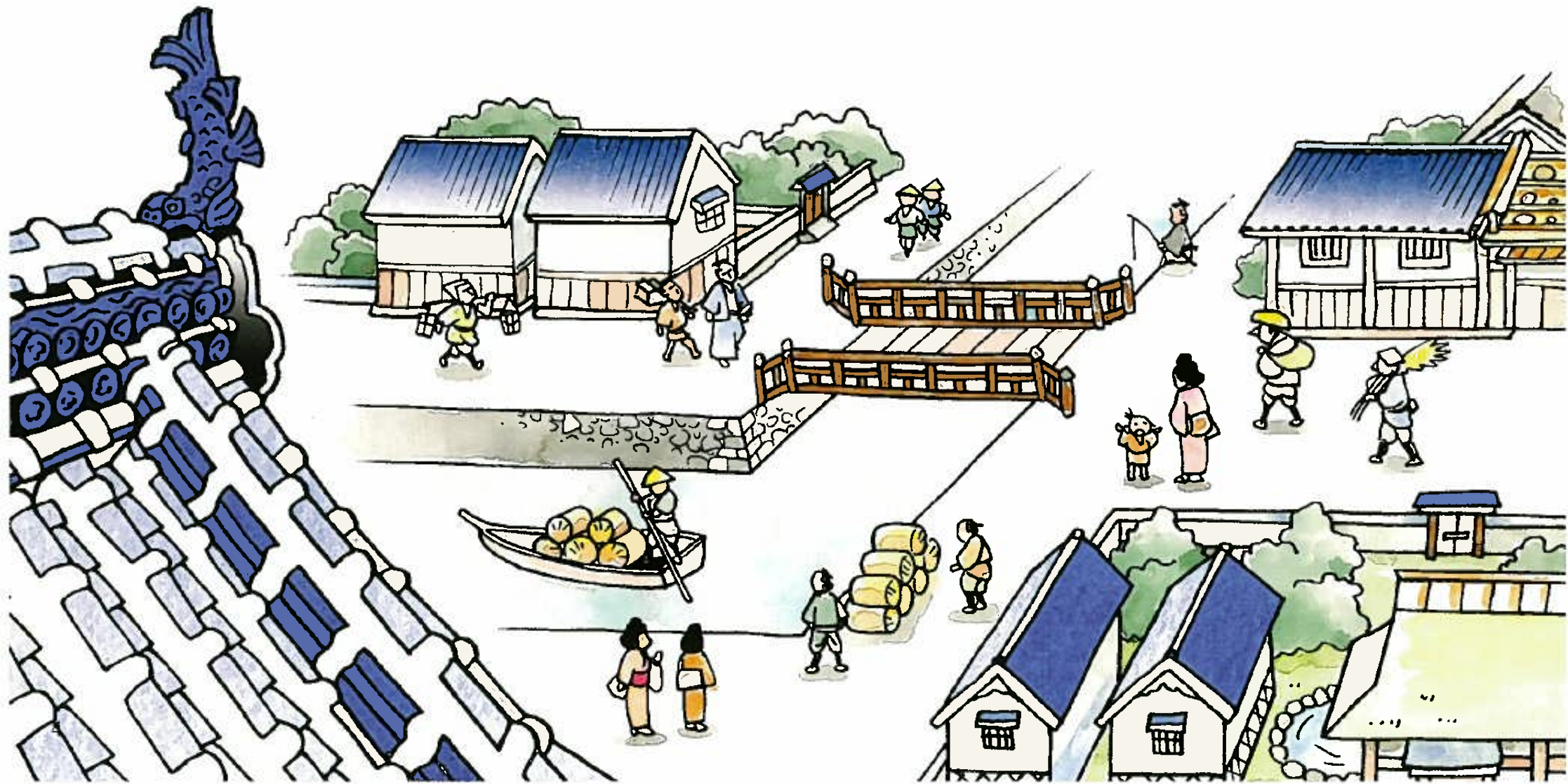
いつもいつも祈いのります。

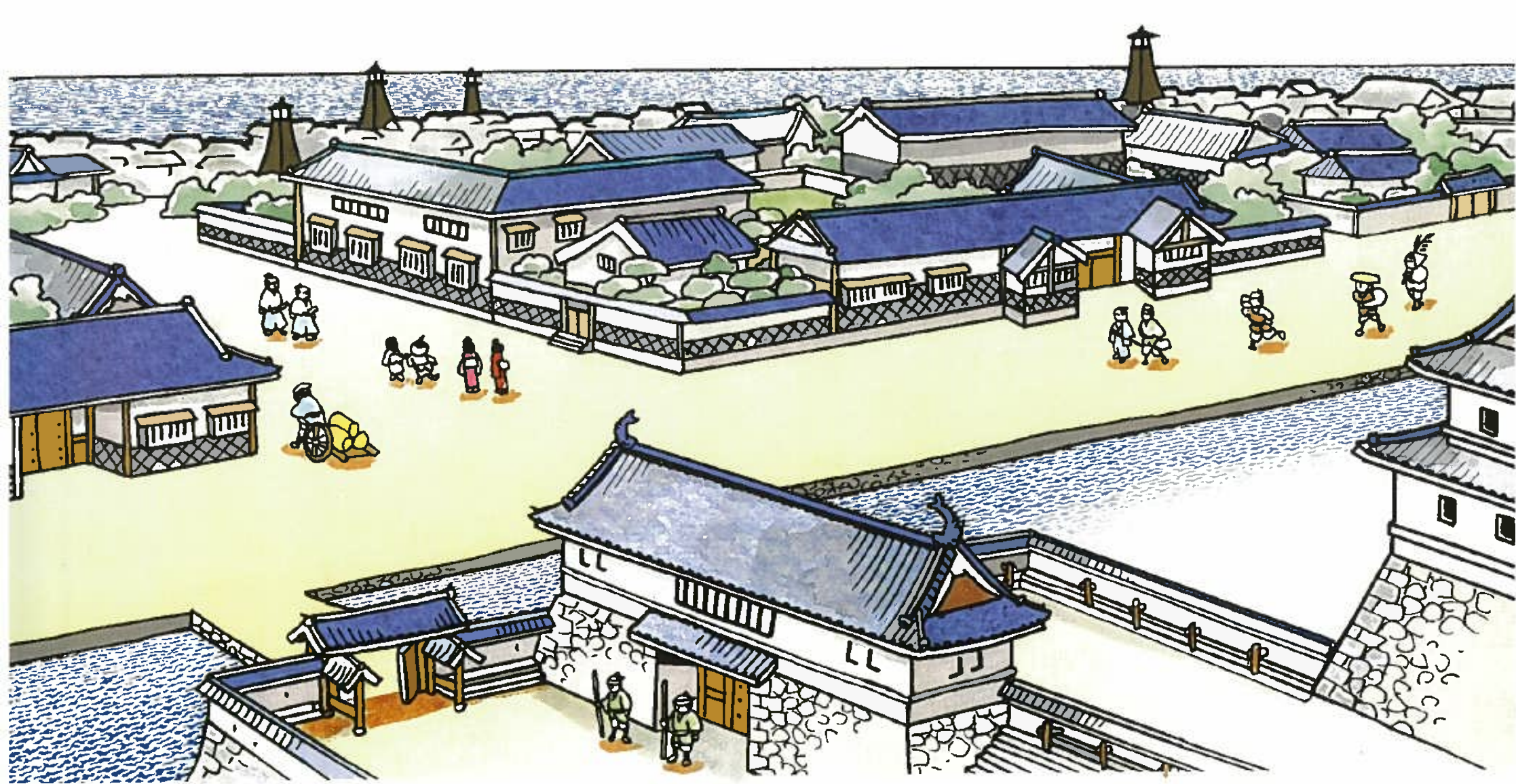
青い空が果てしなく広がっています。





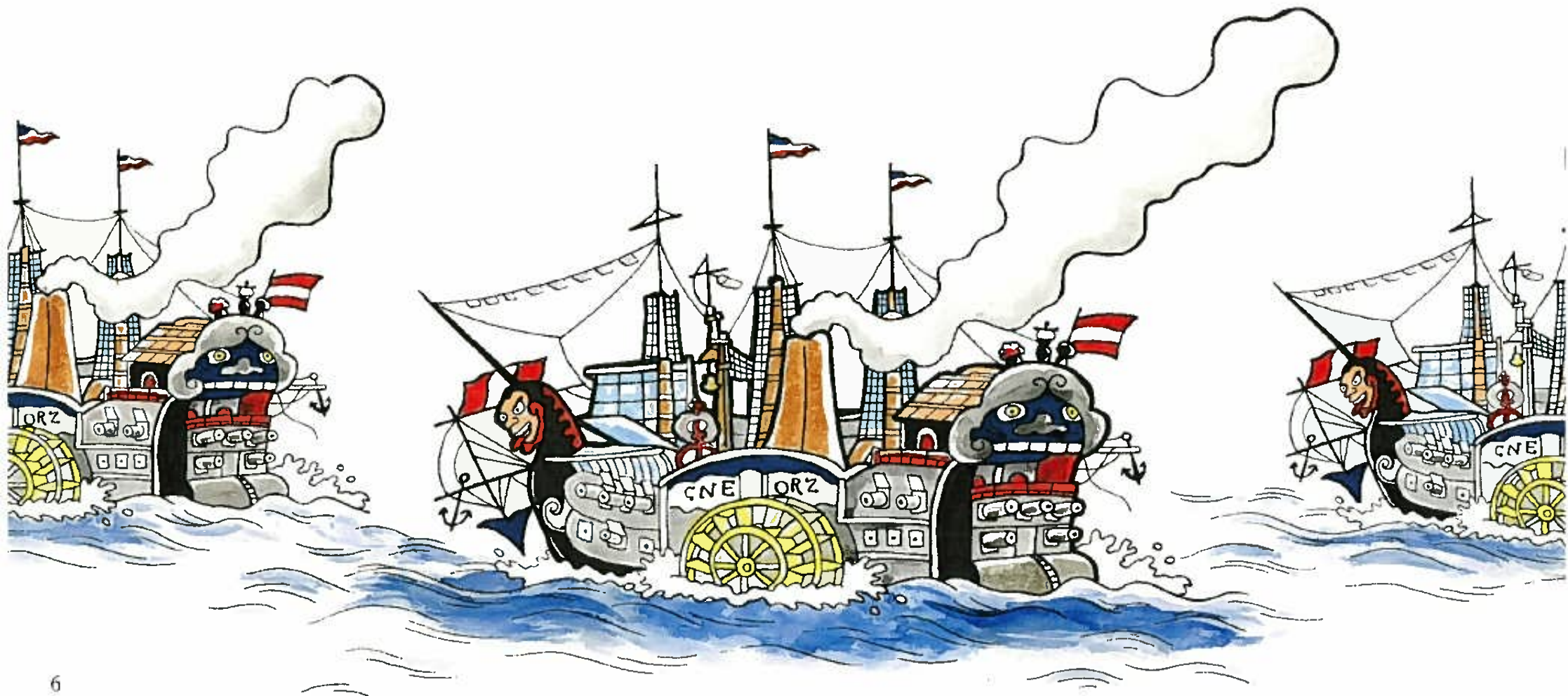
雲平先生は姫路城に代々仕えている亀山家の当主です。
姫路城の殿様を助けて働く一番の家臣です。
殿様の留守をあずかって、お城や姫路の人々を守っています。





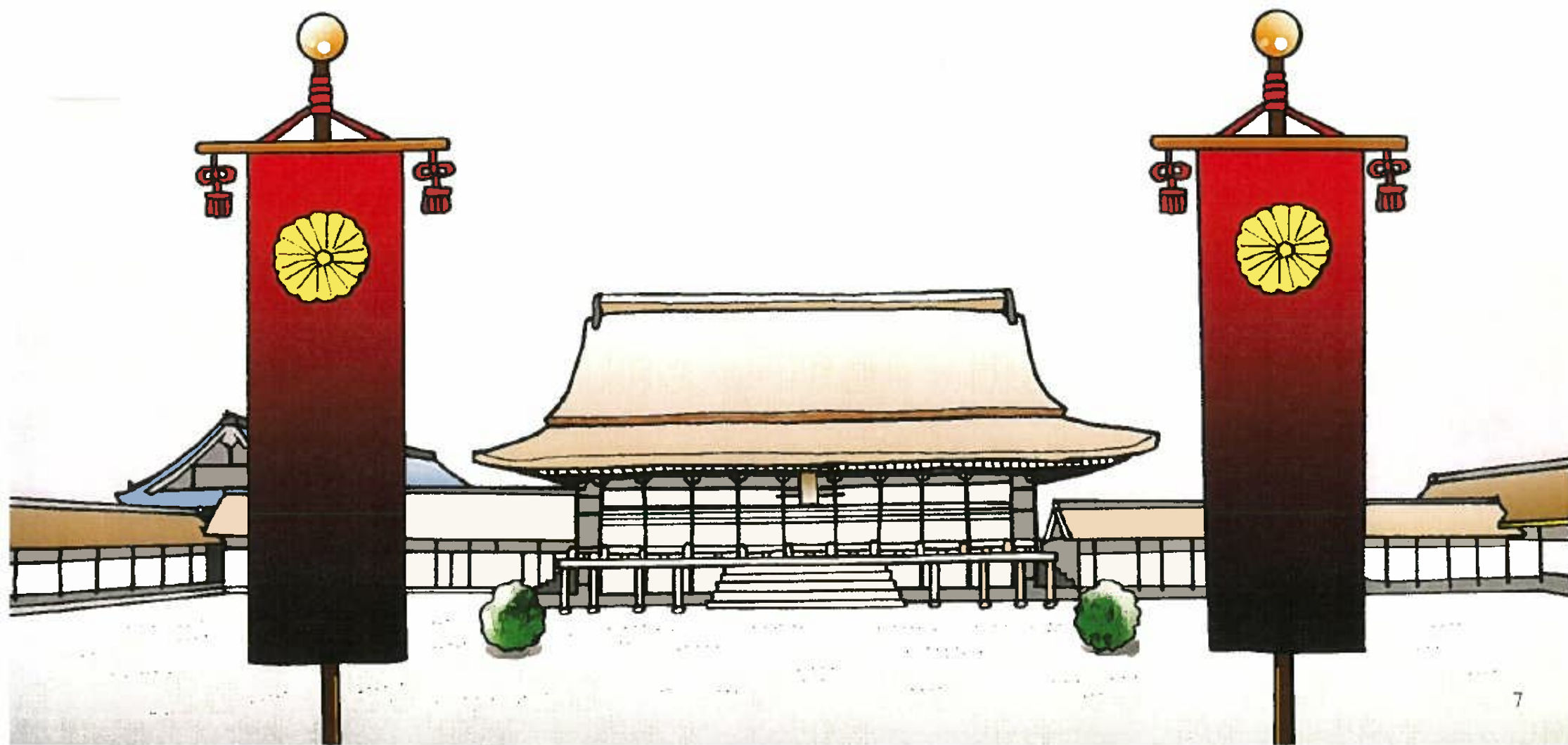
姫路城の殿様は、約270年もの長い間、日本の国を支配してきた
徳川幕府の重要な家臣です。
だから国の政治をする江戸（今の東京です）に居ることが多いのです。

巨大な大砲を備えた外国の軍艦が
やって来るようになりました。
国と国とのお付き合いをしようと迫ります。



これまでのありかたでは日本はもうやっていけな^{かんが}いと、
人々は考^{かんが}えるようになりました。

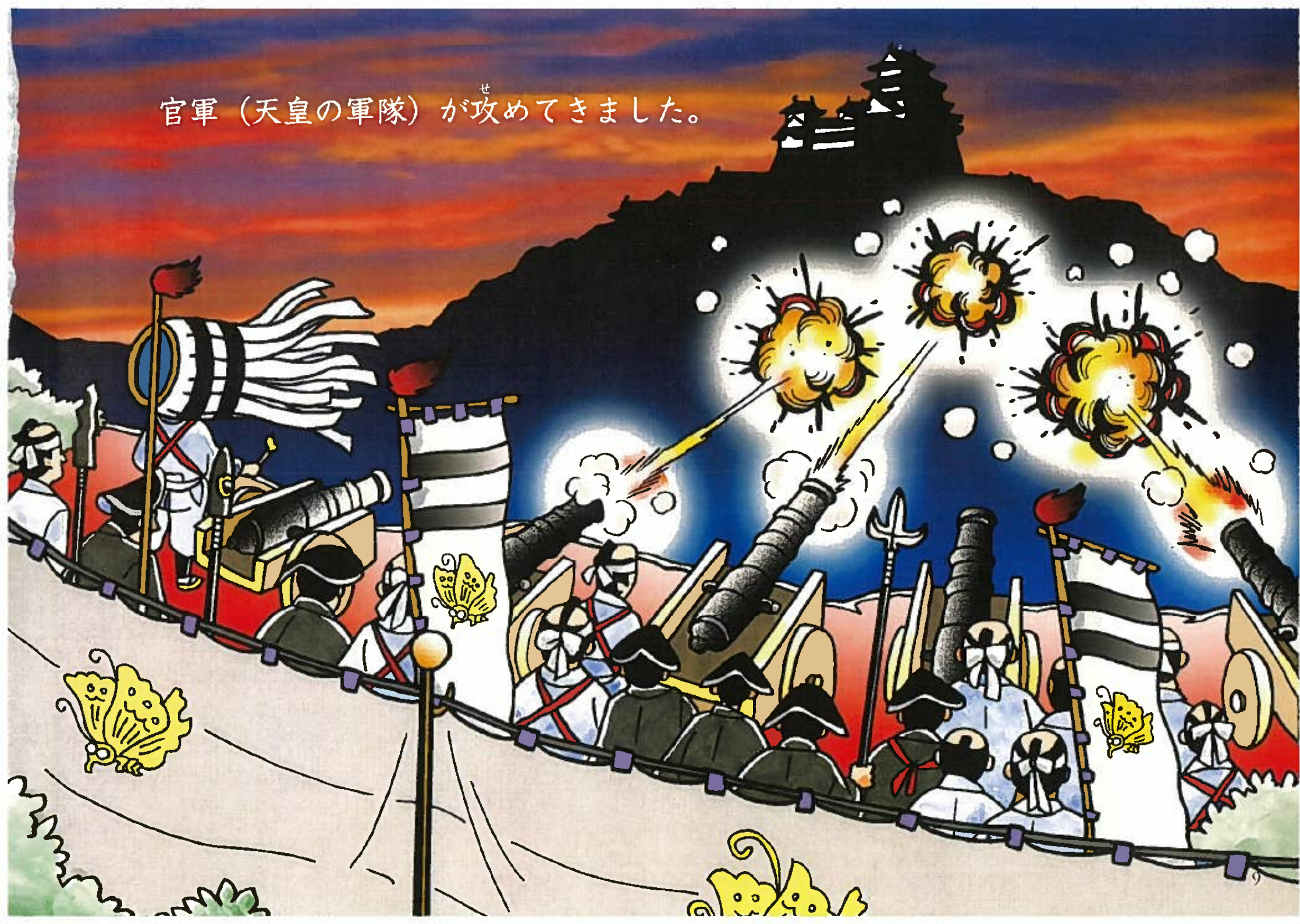
徳川幕府にかわ^{ばくふ}って、昔からず^{そんけい}っと尊^{しょうちよう}敬の象^{しやう}徴であ^あった
天^{てんのう}皇に政^{せい}治^しを担^{にな}って^にもら^らおうと^とし^しま^ます。



徳川幕府は政治の権力を天皇に返しました。
けれども人々は幕府を滅ぼそうとします。
姫路城の殿様も幕府の味方であるとして、
敵と見なされてしまいました。



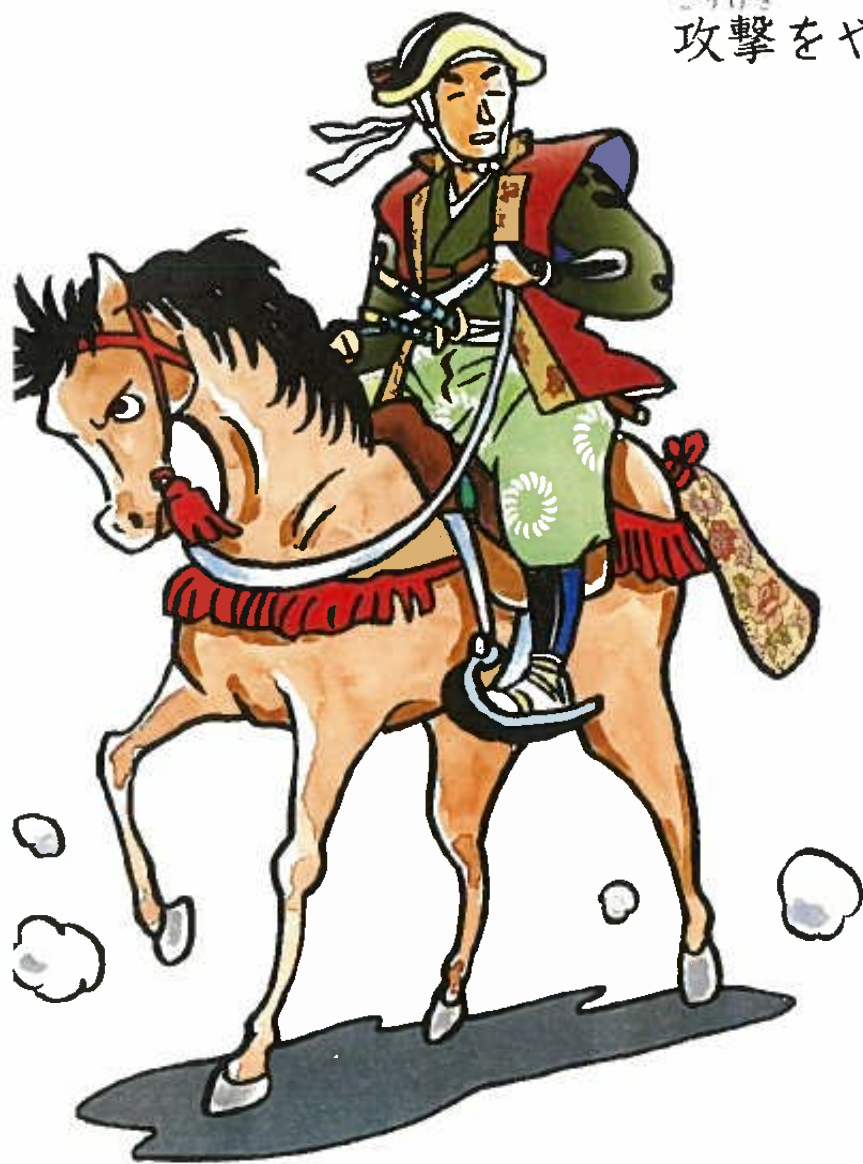
官軍（天皇の軍隊）が攻めてきました。



姫路城^{ひめじじょう}をあずかっている雲平先生は、殿様^{どのさま}の代わりに、
戦うか降伏^{こうふく}するか決断^{けつだん}しなければなりません。
お正月^すを過ぎたばかりの凍^いてつく朝です。
いつものように天をあおぎました。
姫路城^{すく}を救い、兵士^{へいし}たちも住民^{すまみん}たちも
一人として死なせたくありません。



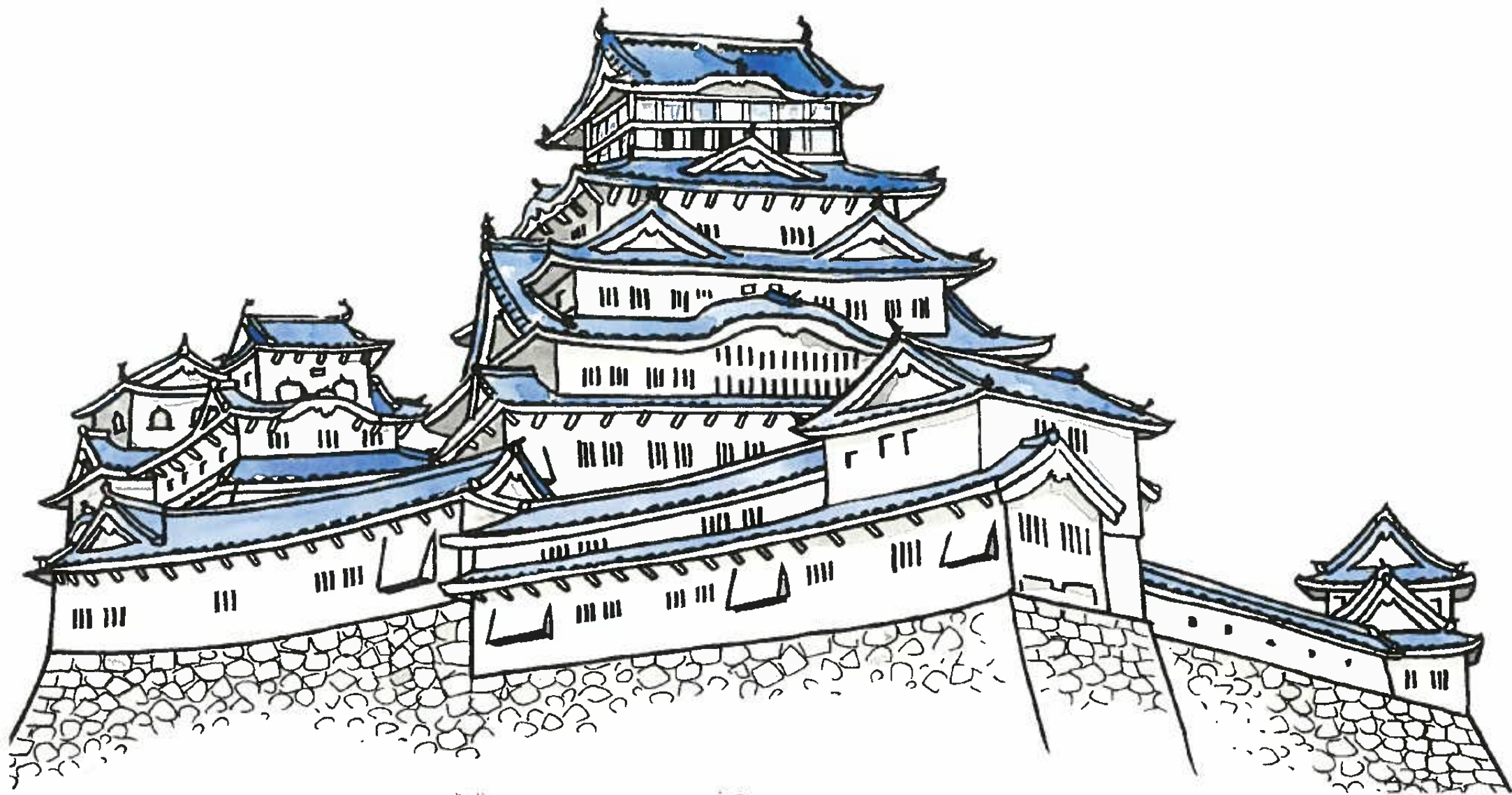
雲平先生は自分の身はどうなってもいいと思いました。
もう一人の家臣^{かしん}とともに降^ふってくる砲弾^{ほうだん}をくぐり抜け、
官軍^{くわんぐん}の陣地^{ちんち}へ向かいました。
攻撃^{こうげき}をやめるよう、官軍の大將^{たいしょう}と話し合います。



こうげき
攻撃は中止になりました。

ひめじじょう たし
姫路城が確かに官軍に明け渡されるまで、
雲平先生はひとじち
人質としてとらわれの身となっていました。





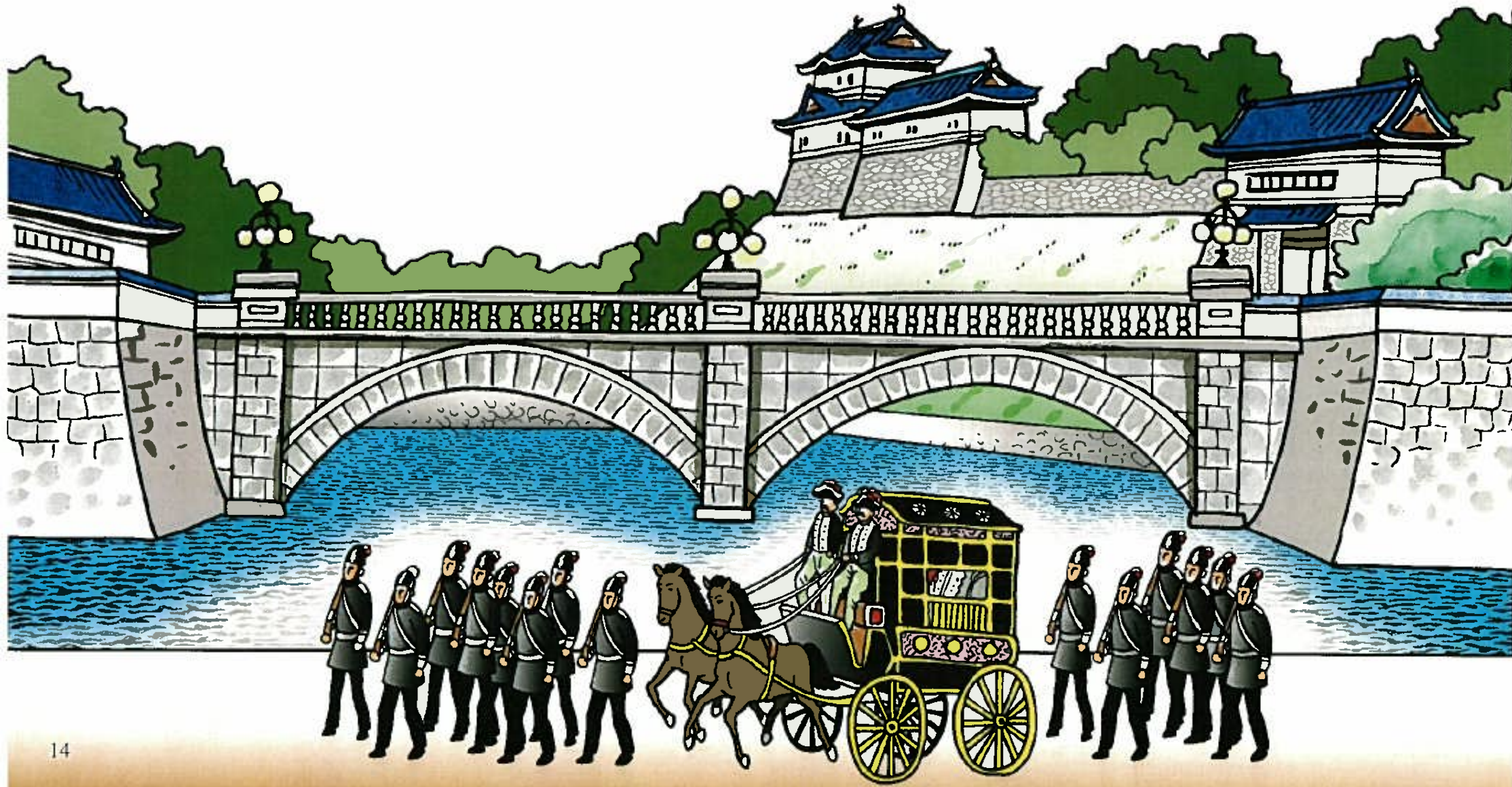
姫路城は傷つくことなく美しいままです。
兵士も人々も無事です。殿様は隠居することになりました。
雲平先生は身分をすべて失いましたが、自分のことよりも
みんなが無事であったことをうれしく思いました。

新しい時代になりました。

「明治」という時代です。

幕府があった「江戸」は「東京」と呼ぶことになりました。

外国の文化や文明がどんどん入ってきます。

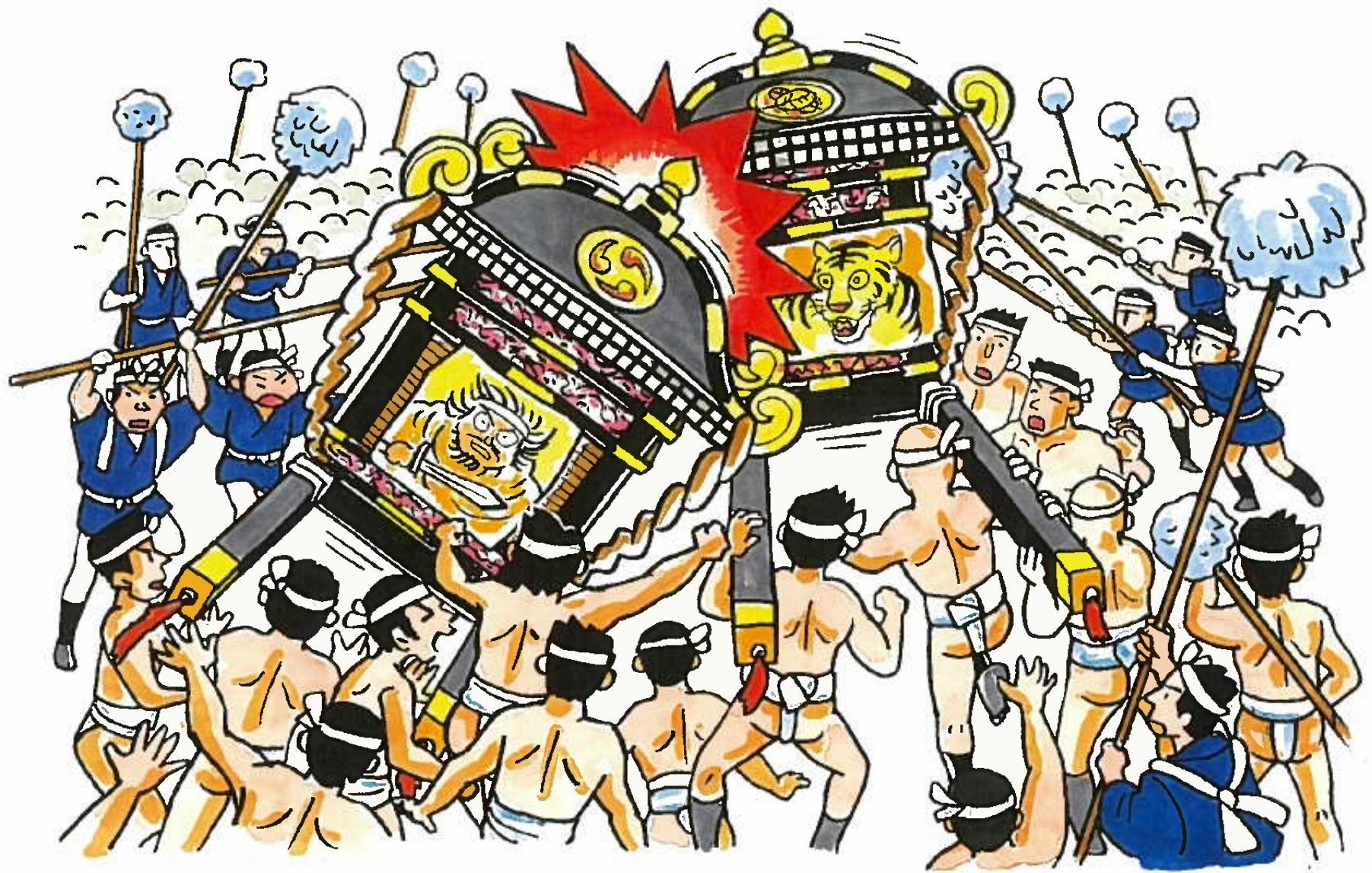




武士は刀を捨てました。
武士のしるしであった頭のチョンマゲを切りました。
人々は洋服を着るようになっていきます。
外国の本も食べるものもいろいろなものを
自由に手に入れることができるようになりました。
でもまだまだ人々は貧しかったのです。

ヨッソイ ヨッソイ エンヤー ヨッソイ
海鳴りのような勇ましい掛け声^かがわき上がります。
「灘^{なだ}のけんか祭り」です。
七つの村の男たちが総出^{そうで}で神輿^{みこし}と屋台をかついで
ぶつけ合う、古くから伝わる荒々^{あらあら}しい祭りです。
女たちは一年に一度のごちそうを作ります。





雲平先生は人々といっしょに祭りを楽しまます。
祭りがつづくかぎり人々のきずなが、そして命も、
途切れることはないのだと、うれしいのです。
先生は祭りのために工夫と協力を惜しみません。

柳谷 郁子（やなぎたに・いくこ）

作家。大阪女性文藝賞、小諸藤村文学賞受賞。

著書に『風の紋章』『月柱』『望郷—姫路広畑俘虜収容所
通譯日記』『夏子の系譜』『諏訪育ち』『美しいひと』ほか。

絵本に『官兵衛さんの大きな夢』

長野県岡谷市出身、兵庫県姫路市在住。

本山 一城（もとやま・かずき）

漫画家。歴史研究家。漫画『スーパーマリオ』は10年
間続き、単行本全43巻。TV監修の『ふくおかクロニ
クル』は7年続いて全336回。著書は約100冊に及ぶ。
神奈川県綾瀬市在住。

資料協力 中島 友子(元神戸医療福祉大学教授)

中嶋 裕子(福山平成大学教授)

うんべいせんせい
雲平先生はいつも

2020年4月30日 第1刷発行

文 やなぎたに 柳谷 いくこ 郁子

絵 もとやま 本山 かずき 一城

発行者 吉村 一男

発行所 神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

TEL 078-362-7140 FAX 078-361-7552

<https://kobe-yomitai.jp/>

印刷 株式会社 神戸新聞総合印刷



©Ikuko Yanagitani, Kazuki Motoyama 2020. Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

ISBN978-4-343-01077-3 C0721